

市川選手の活躍を「みんな」で応援しました！

皆さんのエールが市川選手に届きました



役場庁舎1階ロビーに設置しているメッセージパネル。町民の皆さんからたくさんの応援メッセージが届きました。東京2020オリンピックの金メダリスト・新井千鶴さんからも。

役場庁舎では、市川選手のお母様と奥様、ご友人の皆さんが集まり、関係者のみで市川選手を応援しました。



◀スノーボードクロス5位入賞時の様子



▶入賞を祝い、町からお母様と奥様へ花束を贈呈しました。

MESSAGE FROM ICHIKAWA TAKAHITO



市川選手からメッセージが届きました！

このたびはたくさんの応援ありがとうございました。皆さんの応援が力になり、パラリンピック初出場ながらも両種目共に入賞することができました。

試合での緊張感は、今まで経験してきた大会とは全く異なるものでした。しかし、応援してくれている人々を思い出して「絶対に勝つ」という気持ちで試合に臨みました。結果、この大舞台で多くの経験値を得ることができました。

また、このパラリンピック出場までには7年もの月日がかかりました。障害を負った当初は普通の生活ができるのかという不安や恐怖があったことを今でも覚えています。

しかし、スノーボードに出会ってからは、それに没頭し、あっという間に過ぎた7年でもありました。

これからは自身の経験を踏まえ、いろいろと挑戦することの大切さ、それを続けることの重要性を伝えていき、障害をもつ人たちの希望になればと思います。

次の4年後ではよい色のメダルを獲って、この寄居町に帰ってきますので、引き続き応援のほど、よろしくお願いたします。

市川 貴仁



写真：MA SPORTS/アフロ

スノーボードクロス 5位 バンクドスラローム 8位

寄居中出身

市川貴仁選手 入賞

パラスノーボード

北京2022パラリンピック
入賞おめでとうございます！

寄居 寄居出身の市川貴仁選手（寄居中出身）が、北京2022パラリンピックのスノーボードクロスで5位、バンクドスラロームで8位に入賞しました（クラスはいずれもSBLL2）。

3月6日、スノーボードクロスの予選が行われ、予選順位6位で通過（タイムは1分3秒63）、7日の1回戦では2位となり、準決勝進出。準決勝では、ほかの選手と競い合う中、カーブで体勢を崩し、4位となりました。残念ながら決勝進出とはなりませんでしたが、順位決定戦では、アメリカ、カナダの選手、日本の岡本圭司選手と競い、1位でゴール。5位入賞を果たしました。

また、11日にはバンクドスラロームで1分11秒31のタイムを記録し、8位に入賞しました。

寄居町出身者では、初のパラリンピック出場ならびに初のパラリンピック入賞となりました。